



にちなん

議会だより

Vol.65

令和7年
5月1日発行

主な内容

議員定数19人から17人へ … 2p
議会報告会開催 … 5p
特別委員会活動中間報告 … 6p

委員会審査の概要 … 10p
市政を問う一般質問 … 13p
審議結果一覧 … 20p

■ 今号の表紙 ■ 酒谷の桜のトンネル

議員定数 2 人減案を可決

提案理由

議案提出者 中尾 貞美



現在の議員定数は、平成30年の6月定例会において、議員定数を22人から3人減員し、19人とする議員提出議案が賛成多数により可決され、翌年の平成31年の市議会議員選挙から適用されて5年が経過いたしました。この間、本市の人口動態は想定を超えるスピードで、社会動態、自然動態においても人口減少が進み、当時より約5千人減の4万6千人台へと突入し、その対策が本市の最大の課題ともなっております。

本市議会は、令和5年4月から第5期議員となりましたが、議員定数については、人口規模・財政状況等に応じて定数の見直しを、引き続き協議・検討しており、現時点において、その考え方をまとめることが、改めて必要な時期となってきました。

また、令和5年に行われた市議会議員選挙では、市制開始以来、初めて無投票での改選となり、各分野において課題となっている「担い手不足」が、本市議会でも現実なものとなりました。

このような状況の中、本市議会では、議会改革推進特別委員会を設置し、議員定数の見直しを最重要課題として取り組み、議員アンケートや研修会などを実施し、協議を重ねてまいりました。

なお、この間、自治会連合会からの議員定数削減に関する要望書を受け、議会改革推進特別委員会や議員間討議、議員全員協議会などで協議を行い、また、自治会連合会と全議員との意見交換会を開催するなど、要望内容を広く検討してまいりました。

また、令和6年10月から令和7年1月にかけて、市内9地区において議会報告会を開催し、広く市民の皆様からの様々な意見を受けることもしてまいりました。

こういった、議会改革推進特別委員会での協議、自治会連合会との意見交換会、議会報告会、そして、議員全員での協議を踏まえ、様々な事項を総合的に判断した結果、次の一般選挙から、現在の議員定数から2人減となる「17人」とすることが妥当との意見が多数を占めたため、今回の議員提出議案を提出することとなりました。

2人減とする根拠としては、一つに、県内外の類似都市と比較した場合、現在の議員定数でも突出して多いという傾向は見られないけれども、過去5年間ににおける人口減少は顕著であり、人口や有権者数の推移、また面積や産業構造など、様々な面における比較から、現在の議員定数19人から2人を減員することが妥当であること。二つに、大幅に定数減を行うと、市内9地区の多様化する課題、住民の多様化する意見などが市政に反映されなくなる可能性があり、「議会として専門的視点をもち、厳しく審査し、議会としての役割を果たすために3つの委員会を堅持する」との観点からも、現在の議員定数19人から2人を減員することが妥当であること。三つに、人口減少は進んでいるが、財政規模はここ数年300億円を超えている状況でもあり、この現状から行政側のチェック機能の役割を果たすには、大幅な定数減を行うのではなく、現在の議員定数19人から2人を減員することが妥当であること。というものであります。

また、最近の社会情勢を見てみますと、留まることがない物価高騰や人口減少が、今後も続いていくものと予測されております。このような中、議会の役割はさらに大きくなっていくものと思われ、そのような状況での議員定数削減は、大変厳しいものであると考えております。

しかしながら、日南市議会基本条例第21条第1項には、「市民の負託機関である議会の議員定数の改正に当たっては、行財政改革の視点及び市政の現状と課題並びに将来の予測と展望を考慮するもの」と定められており、将来の日南市を見据え、議会が率先して行財政改革に取り組むことが、市民に身近な議会となるものと考えております。

定数「19人」から「17人」へ

次回の一般選挙より適用

賛成討論

鈴村 かすえ



令和5年の統一地方選挙が無投票であったことから、今後議会は何をなすべきか積極的に検討し、議会改革推進特別委員会で最重要検討項目として次期選挙を考慮し、2年間で結論を出すことを目標に議論してきた。令和5年12月に行った議員意識調査では、それぞれに考えが違い各会派から選出された委員が会派に持ち帰り調整を重ねてきた。

また、自治会からの削減要望後は全議員で協議し、記名投票を行い2人減が多数となった。

議会改革推進特別委員会の一人として議論を重ね、いかに意見を合わせて削減を実現させるかに苦慮した一人として、これ以上の議論の先延ばしは次期選挙までに1人の削減も見えないと思う点から、今回の議員定数条例の一部を改正する条例に賛成する。

反対討論

柿原 聡子



県内各市の人口と議員定数の比較や、県内各市の有権者数と議員定数の比較などから、2減の数字が妥当だと判断されたが、そもそも他市と比較する必要はないし、私利私欲ではなく本当に市民のため、日南市の発展のために考え動ける議員であれば、人数は少なくとも構わない。

また、行政側のチェック機能を果たすためには、現状の3委員会を堅持するのが妥当だと判断されたが、3つの委員会を2つにし、1つの委員会の人数を増やせば良いだけである。よりたくさんの事業をチェックできる方が、議員の仕事としては相応しいのではないか。以上の考えから、議員定数はもっと減らしても良い。つまり、削減数は2減ではなく3減が妥当であると考える。

採決結果

※議長は採決に加わりません。(○=賛成 ×=反対 欠=欠席 議=議長)

議案名	北山みゆき	影山逸郎	平剛典	鈴村かずえ	柿原聡子	富士洋一	小玉弘明	北川浩一郎	谷口慎二	黒部俊泰	山田和一也	川口幸雄	前田武紀	濱中啓一	坂元竹博	安竹貞美	中尾秀子	井福子	採決結果
日南市議会議員定数条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	議	○	○	○	○	原案可決

新しい正副議長、常任委員会等を決定!

議長



北川 浩一郎

副議長



川口 和也

議長・副議長あいさつ

市民の皆様には、日頃から市議会に対しまして、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本市においても、少子高齢化や若者の流出による人口減少問題、物価高騰対策や頻発化する大規模な自然災害など、取り組むべき重要な課題が山積しております。

それぞれの地域での生活基盤の維持が困難になるのではないかと大変危惧しております。

加えて、デジタル化社会や脱炭素社会など、新しい社会の構築が求められており、私たちの生活も大きく変わってきています。

市議会といたしましても、二元代表制の一角を担うべく、市民の皆様の声に真摯に耳を傾け、開かれた議会を目指して会話と議論を重ね、市政の発展はもとより、皆様が住み慣れた地域で、安心・安全にいつまでも暮らしていける日南市を実現するため、誠心誠意努めてまいります。

この議会だよりでは、日南市議会の情報を広くお知らせしてまいりますので、今後ともご理解ご支援いただきますようお願いいたします。

議会運営委員会

定例会、臨時会の会期及び会期日程等に関する事項、議会の会議規則及び委員会条例、その他規程等に関する事項、議長の諮問に関する事項について、審議及び調査、研究を行います。

委員長

影山 逸郎

副委員長

黒部 俊泰

委員

北山 みゆき

小玉 弘明

山田 一

議会選出監査委員

富士 洋一

日南串間広域不燃物 処理組合議会議員

北川 浩一郎

小玉 弘明

平 剛典

谷口 慎二

坂元 啓一

安竹 博

柿原 聡子

日南市内9地区において

『議会報告会』を開催しました！

市民の声を市政に反映させることを目的とした議会報告会を10月9日から1月27日までの間に昨年度同様全9地区で開催し、総数延べ133人の市民のみなさまの参加をいただきました。

今年度は、10月末以降の開催を大雨の影響により延期したこともあったためか、昨年度に比べ参加者は、若干減少しました。

報告会では、議員による「議会活動報告」及び「各地区に関する設定テーマ説明」を行った後、市民のみなさまと意見交換会を行いました。意見交換では、市民のみなさまから人口減少や子育て支援策等さまざまな課題や市議会への要望など、貴重なご意見、ご要望をいただき、改めて議会としての広聴活動の重要性を認識したところです。

市民のみなさまからいただいたご意見等は、議会で議論を重ね、市への政策提言につなげてまいりたいと考えております。



いただいたご意見(アンケートより一部抜粋)

- 要望等理解していただいたと思います。市議会のガンバリを期待します。
- 県の地域猫事業へのご協力をお願いします。
野良猫の問題は、市民の困り事の一つです。
- 具体的に市民が生活の中で課題としていることについての話し合いができると良いのでは。
- 地球温暖化によって起きる突然の集中豪雨による洪水等の災害による被害への助成をお願いしたい。
- PR不足。参加者が少なくて残念。
- 議会報告会に参加して議員の方々が努力されていると思いました。今後も日南市民のために頑張ってください。
- 議会の立場から質疑への回答が難しいと思いますが、市民の意見は様々ですので、それを参考にされて、当局と力を合わせて日南市を発展させていきたいです。

総 括

今回参加いただいた市民のみなさまから市政に対する熱いご意見を多数いただき、市政への期待は高いものと確信したところです。

今後、さらに市民のみなさまが市政に関心を持ち、関わりをもっていく環境をつくっていくためには、われわれ議会は、常に市民目線で、多くのご意見に耳を傾けながら、それらの声を目に見える形にする政策提言を市に行っていくことが、市政の発展及び市民の福祉向上につながっていくものと考えます。

本年度の「市民と語る日南市議会」全体における反省や市民のみなさまからのご意見等を精査し、更なる改善及び見直しに努め、来年度も幅広い意見が聴けるよう、鋭意努力してまいります。

特別委員会中間報告(抜粋)

令和6年度における、各特別委員会活動の中間報告を行いました。

議会改革推進特別委員会

本特別委員会は、令和5年第4回定例会において、本市議会の活性化を図るとともに、市民の信託に応える開かれた議会形成に向けた議会改革を推進することを目的として、7人の委員をもって設置されたものであります。

令和6年度につきましては、今定例会において議決されました日南市議会議員定数条例の一部改正に向けた「議員定数の見直しについて」を最重要検討項目として協議してまいりました。

2月27日の議員提出議案の提案理由説明でもありましたように、全国的にも人口減少や各分野における担い手不足が課題となっており、そのような状況の中、本市においては令和5年に行われた市議

会議員選挙が、定数19人に対して、立候補者が19人となり、市制開始以来、初めて無投票での改選となったことから、議会として何を成すべきかを積極的に検討する必要があります。

このことから、本特別委員会においては議員アンケートや研修会、議員間討議を実施してまいりましたが、本特別委員会内での議論にとどめることなく、全議員での意見交換や討議を積極的に行い、議会の機能を十分に発揮するために必要な議員定数を検討し、議論を進めてまいりました。

本特別委員会においては、そのほかにも「議会組織」や「議会運営」に関して、検討中の項目が多くあるところではありますが、テーマである「市民の信託に応える開かれた議会形成」を目指し、今後もスピード感を持って、さらなる議会改革に取り組んでまいりる所存であります。

以上で報告を終わりますが、本特別委員会の活動は、全議員の参画なしにはなりません。皆様の

より一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。議会改革推進特別委員会の中間報告といたします。

総合交通・産業活性化対策特別委員会

本特別委員会は、令和5年第4回定例会において、東九州自動車道、国道220号などの主要道路網や油津港をはじめとする総合交通網の整備促進、また、これらのインフラを活かした産業振興・雇用創出に関する諸問題に対処することを目的とし、7人の委員をもって設置されたものであります。

本年度は、昨年度と同様に、本委員会の設置目的である、本市における総合交通網の整備について、国県等の関係機関に対する要望活動や、関係機関との意見交換を行いました。

要望活動は、『東九州自動車道の早期整備』、『命の道』国道220号防災対策の早期整備及び国道の直轄管理の継続、『重要港湾油津港の整備』の3項目について、

8月と11月に県をはじめ、宮崎河川国道事務所、宮崎港湾・空港整備事務所、九州地方整備局、国土交通省、県選出国會議員に対して、本市における各インフラ整備の必要性や事業効果を訴え、早期完成や整備促進等をお願いしたところであります。

要望事項における現在までの整備等の動きについて、個別に報告申し上げますと、まず、東九州自動車道においては、令和5年3月25日に、長年の悲願でありました「清武南～日南北郷間」が開通し、同年10月には「油津～南郷間」及び「奈留～夏井間」も着工し、現在、着実に工事が進んでいる状況であります。そのような中、昨年4月1日に東九州自動車道最後の未事業化区間でありました「南郷～奈留間」についても新規事業化が決定し、全線開通に向け、大きく前進したものと考えております。

今後も引き続き、一日も早い全線開通に向けて積極的に活動してまいります。同時に既に開通している区間はもちろん、事業中区

間、また、全線開通後に高速道路をどのように活用していくべきかが大変重要となりますので、本委員会でも様々な方面において調査研究していくことが必要と考えております。

次に、国道220号においては、重要港湾や宮崎空港を結ぶ重要な道路であると同時に、沿線住民の生活を支える「命の道」としても大変重要な道路であり、平成31年4月には、国土交通省より「重要物流道路」の指定を受けており、引き続き、国の直轄管理が継続されることにより、経済や生活を継続的に支えるための機能強化や重点支援が期待されるところであります。

昨年12月13日に、国道220号内海トンネル新設工事の安全祈願祭が行われ、日南防災（北区間）の完成にさらに一歩近づきました。が、昨年8月には地震により巨大な落石が発生し、一時全面通行止めとなるなど、これまで同様、災害により通行できない事態が発生していることには変わりないと考えております。

今後、発生が予想される南海トラフ巨大地震等の大規模災害時にも「命の道」として機能できるよう、（北区間）「内海・富士間」含め、（南区間）「宮浦・鵜戸間」の早期完成と（南区間）「鵜戸・風田間」の早期事業化が待ち望まれるところであります。

次に、油津港においては、東九州自動車道「清武南・日南北郷間」の開通による貿易貨物等の増加や、クルーズ船の寄港による交流人口の増加などが期待され、地元経済はもとより、県南、県央地域においても、大変重要な港であります。今後は、このような効果をより高めるためにも、現在事業中の第10岸壁の延伸工事、また、油津港港湾計画に沿った、油津港全体の早期整備が図られるよう、国県、企業などと連携し、安定した予算確保に向けて積極的な取組が必要であると考えております。

次に、産業活性化においては、昨年12月に日南土木事務所及び油津港湾事務所と、道路・河川改修事業や、港湾・漁港整備事業等、県が実施する公共事業についての

意見交換会を、今年1月には南那珂農林振興局及び日南市と、南那珂農林水産業の活性化に向けて県が取り組んでいる事業についての意見交換会をそれぞれ実施し、県事業と円滑な連携が図られるよう、多岐にわたる意見交換を行ったところです。

また、先進的な取組に対する調査・研究として、徳島県にあるNPO法人グリーンバレー並びに阿佐海岸鉄道株式会社を訪問いたしました。

NPO法人グリーンバレーでは、人口減少の現状を受け入れ、若者や創造的な人材の誘致により、第一次産業のみに頼らない持続可能な地域を目指す取組「創造的過疎」についてを、阿佐海岸鉄道株式会社では、線路と道路を自在に走行できる乗り物「DMV」をそれぞれ視察し、経緯、取組実績、各種問題点や改善事項など伺いました。

人口規模の違い、環境の違いなど多々ありますが、今後も地元産業の活性化につながる取組や先進事例について、さらに研究してまいります。

以上が本特別委員会の今年度の主な活動であります。

本特別委員会としましては、本市のインフラ整備はもとより、これらを活かし、基幹産業である農林水産業をはじめ、さまざまな産業振興対策が講じられるよう、今後も積極的に要望活動等に取り組みます。

さらに、市当局や関係機関と連携し、本市の活性化、地域振興のために、今まで以上に努力してまいることを申し上げまして、本特別委員会の中間報告といたします。



県選出国会議員への要望活動

第2回定例会開催

令和7年度 一般会計予算などを可決!

令和7年第2回定例会は、令和7年2月20日から3月21日までの30日間開催され、令和6年度一般会計補正予算及び令和7年度一般会計予算をはじめとする市長提出議案など、あわせて56件を審議しました。

審議結果につきましては、20ページの「審議結果一覧」をご覧ください。

日南市重点戦略プラン

「日南市重点戦略プラン」は、本市を取り巻く社会経済情勢等に対応し、将来を見据えた持続可能なまちづくりを推進するに当たり、市政運営の指針を定めるものです。

現在の計画期間が本年度までとなるため、本定例会において、令和7年度から令和11年度までの5年間を計画期間とする「日南市重点戦略プラン2025」が提案されました。

議会では、議長を除く全議員17人で構成する「日南市重点戦略プラン審査特別委員会」を設置し、2月25日に、関係部課長に説明を求め、慎重に審査しました。

採決の結果『全員賛成』で可決しました。

令和6年度関連議案

〈一般会計補正予算の概要〉

令和6年度一般会計補正予算の補正額は22億9008万4千円で、補正後の予算総額は384億2950万4千円となりました。

◇南郷大島魅力創生プロジェクト事業

〔4億円〕

南郷大島において、市外からの来訪者の獲得や市内の他の観光拠点との連携による観光消費額の向上、働く場の創出等を目的に行う観光交流拠点施設の整備に対して助成を行う経費です。

・事業主体 株式会社レジャークリエイトホールディングス
・事業内容 ヴィラ（宿泊施設）7棟、レストラン、グランピング施設等

◇ふるさと応援寄附金事業

〔12億165万4千円〕

ふるさと応援寄附金の本年度見込みが当初予算より上回ることにより、返礼品等の関係経費の追加を行う経費です。

令和7年度関連議案

〈当初予算の概要〉

令和7年度一般会計当初予算は、人口減少対策の強化、危機管理対策の強化、魅力ある持続可能なまちの実現、ゼロカーボンシティの推進、スマート自治体の推進という施策構築に当たっての5つの視点を基本に、重点的な施策を推進するための取組に加え、南郷町地域振興センター新設などの計上により、予算額は366億3千万円となりました。

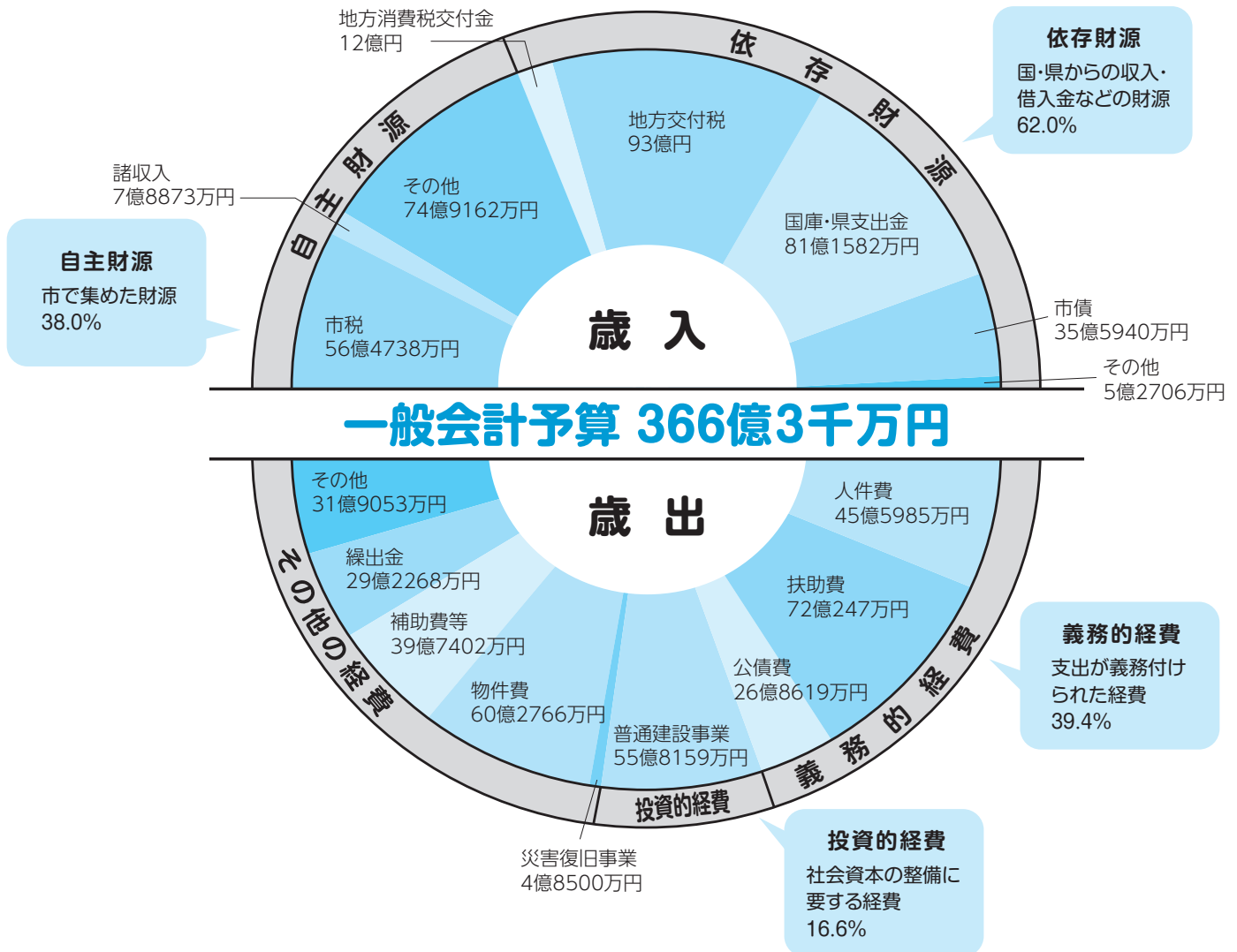
歳入につきましては、市税において、市民税が前年度比3・2%増の22億3525万円、固定資産税が前年度比0・2%増の27億9972万8千円となっており、市税全体では、前年度比1・3%増の56億4737万9千円となりました。

歳出につきましては、高機能消防指令センター・デジタル無線総合整備事業などの増により、投資的経費は前年度比74・4%増の60億6659万3千円となりました。

各事業の審査状況は、10ページ以降をご覧ください。

1. 人口減少対策の強化
2. 危機管理対策の強化
3. 魅力ある持続可能なまちの実現
4. ゼロカーボンシティの推進
5. スマート自治体の推進

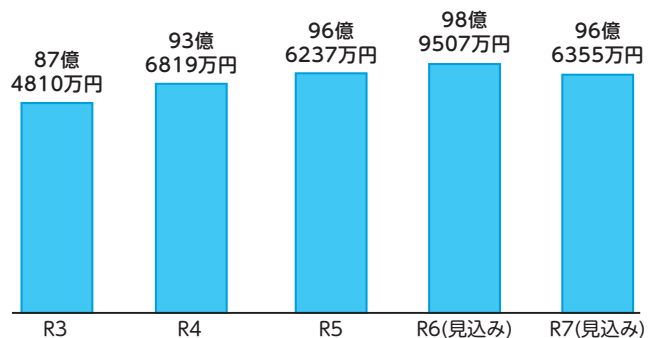
5つの視点に基づき、 行財政資源を配分した令和7年度予算



用語解説

- 地方交付税**：地方公共団体の財政の偏りを調整する目的で、国が交付するお金。
- 市債**：大規模な事業を行うときなど、国や金融機関などから借り入れるお金。
- 公債費**：市が、国や金融機関などから借りたお金を返す経費。
- 普通建設事業費**：通路や学校などの公共公用施設の新・増築などの建設にかかる経費。
- 物件費**：旅費や消耗品費、委託料など。
- 繰出金**：一般会計と特別会計、または、特別会計の相互間において支出される経費。

基金積立残高の推移



総務市民委員会

総合政策部、市民生活部（北郷町地域振興センター及び南郷町地域振興センターを除く）、会計課、消防本部、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会及び議会事務局の所管に属する事項、北郷町地域振興センター及び南郷町地域振興センター所管に属する事項のうち右記に準ずる所管に属する事項、他の常任委員会に属さない事項を審査します。

委員長 小玉 弘明
副委員長 前田 幸雄
委員 影山 逸郎
鈴村 かずえ
坂元 啓一
北川 浩一郎

総務市民委員会の審査概要

◇歴史資料館（ガイダンスセンター）整備事業（油津文化遺産）
【4億4000万円】

油津別館を改修し、地域の歴史文化やまちの回遊性を向上させるための拠点施設整備のための経費です。

【審査の内容】

問 物価高騰等の影響があり、工事費が増える可能性はあるが、予算内でできるように工夫することはできないか。

答 地震の影響により修繕が必要なこと及び物価高騰、人件費の増等により、工事費が増える見込みが考えられる。現在、工事費用をできるだけ抑えるためにさまざまな面から検討している。

◇防災行政無線管理費事業
【2352万5千円】

市内に設置している防災行政無線の維持管理に要するための経費です。

【審査の内容】

問 事業費が昨年度に比べ、757万円増加している理由は。

答 防災行政無線機器が5年経過したことにより、更新が必要なた

それに係る費用分が増加している。

◇エリア9強化事業
【1350万円】

地域連携組織が地域の課題解決や地域住民の交流、コミュニティ再生等に自主的に取り組む事業の支援を行うための経費です。

◇防犯灯維持管理事業
【278万8千円】

市管理防犯灯の設置及び維持管理に要するための経費です。

【審査の内容】

問 市が管理している防犯灯のLED化の割合は。

答 令和7年2月現在で、市が管理する防犯灯4149灯のうち3551灯がLED化されている。割合は、85・59%である。今後もLED化を進めていく。

◇戸籍振り仮名事業
【1688万6千円】

全戸籍の氏・名に振り仮名（フリガナ）を記載する業務に要するための経費です。

◇高機能消防指令センター・デジタル無線総合整備事業
【5億4003万円】

消防施設整備のための経費です。

【審査の内容】

問 変化するところはどこか。

答 地図情報の改良で、より早い災害地点の特定が可能になる。またモバイル型指令端末機の導入により、移動しても指令機能の継続ができる。

◇消防施設器材整備事業
【4588万2千円】

消防施設・水利の整備、車両の更新に要するための経費です。

【審査の内容】

問 新規で購入予定の水中ドローン2セットは、どのような場で使用するのか。

答 水難救助の際に行方不明者の捜索に使用する。まず、水中ドローンを水の中に入れ、状況を確認すること、安全に確実に救助にあたることができる。



新規購入予定の水中ドローン



文教厚生委員会

健康福祉部、教育委員会及び中部病院の所管に関する事項、北郷町地域振興センター及び南郷町地域振興センター所管に属する事項のうち右記に準ずる所管に属する事項を審査します。

委員長 平 剛典
副委員長 北山 みゆき
委員 黒部 俊泰
安竹 博
中尾 貞美
井福 秀子

文教厚生委員会の審査概要

◇放課後児童対策事業

【2億910万4千円】

学校の放課後、保護者が就労等で面倒を見ることができない小学校1年生から6年生を対象に実施する放課後児童クラブの運営を行う事業に要する経費です。

【審査の内容】

問 令和6年度の待機児童は何人か。
答 54人で、4年生以上であった。
問 この事業で、待機児童の解消につながるのか。
答 南郷地区は、立正幼稚園に受け入れを調整中である。今のところ、週3回の受け入れの予定であるが、夏休みに給食の提供をしていただけるといことなので、今後、利用者の増につながり、待機児童の解消になることを期待している。

◇重層的支援体制整備事業

【776万円】

地域住民の複雑・複合化した支援ニーズを包括的に支援する重層的支援体制整備事業の移行準備のための経費です。

【審査の内容】

問 相談体制を前倒して開始しているということであったが、どのよ

うな体制になっているのか。

答 他市で経験を積んだ社会福祉士と精神福祉士の資格をもつ職員が対応している。今後、相談が増加、複雑化するようであれば、体制の見直しを検討する。

◇認知症初期集中支援事業

【1300万円】

認知症初期集中支援チームを中部病院内に設置し、認知症が疑われる人や認知症の人及びその家庭を訪問し、アセスメント、家族支援などの初期の支援を包括的、集中的に行うための経費です。

【審査の内容】

問 来院者数は。

答 新患が月5人。再診が、月30人と見込んでいる。新患は、月5人くらいしかとれず、待ちの状態。今、新患で予約すると、受診可能なのは、7月。大学病院と、診察回数を増やす相談をしているが、大学病院側も人力的に厳しく、これ以上増やせない。認知症が進んでいる患者を専門の病院で診てもらおうような取組も検討している。

◇予防接種事業

【1億5313万円】

予防接種法に基づき実施する高齢者の予防接種に要する経費です。

①新型インフルエンザ ②新型コロナウイルス

③肺炎球菌 ④带状疱疹

対象者…65歳以上の方。60歳から64歳の方で、基礎疾患の状況によっては対象となる場合あり。さらに、④は、5年間の経過措置として、70歳から100歳までの5歳年齢ごとの方。

【審査の内容】

問 新規の带状疱疹の接種予定者数の見込み人数とワクチンの種類は。
答 対象者は、500人と見込んでいる。生ワクチン、不活化ワクチンの2種類である。

◇国民スポーツ大会開催事業

【1523万5千円】

令和9年度国民スポーツ大会の開催に向け体制強化及び実行委員会の運営等のための経費です。

種目	競技名	種別
正式競技	セーリング	全種別
	バレーボール	青年男子
	レスリング	全種別
特別競技	高等学校野球	硬式
		軟式
公開競技	綱引き	全種別
障スポ	バレーボール	

日南市で開催される競技一覧

産業建設委員会

産業経済部、建設部、水道局及び農業委員会の所管に関する事項、北郷町地域振興センター及び南郷町地域振興センター所管に属する事項のうち右記に準ずる所管に属する事項を審査します。

委員長 谷口 慎二
副委員長 柿原 聡子
委員 富士 洋一
川口 和也
山田 一
濱中 武紀

産業建設委員会の審査概要

◇木造住宅耐震化普及促進事業

【453万6千円】

昭和56年5月以前に建築された既存戸建木造住宅の耐震診断・改修に対する助成経費です。

【審査の内容】

問 戸数については予算的に限られているということか。また、これ以上の申請がある場合はどうするのか。

答 当初予算として計上した戸数である。それ以上の申請がある場合は、補正で予算を組むことになる。

◇北郷温泉施設管理費

【617万7千4百円】

北郷温泉施設の管理運営に係る経費です。

【審査の内容】

問 2階の活用について問う。

答 2階については、活用ができず、入ることすらできない状況である。消防法と建築基準法の関係で、2階は活用しないと最初の段階で決定している。

問 2階は消防法に適していない部分があつて使えないのか、それとも、消防に申請していないから使えないのか、どちらなのか問う。

答 2階は消防法に適していないか

ら使えない。

◇種子島周辺漁業対策事業

【5566万円】

種子島周辺漁業対策事業を活用し、日南市漁協水揚げ荷捌施設等及び、南郷漁協販売施設等の整備に対する支援をするための経費です。

【審査の内容】

問 国庫ではなく県からの補助金という考えで良いか。

答 県を通じて入る補助金である。

問 国と県の割合を問う。

答 補助金としては事業費の8割。その8割の内訳は、県が90%、市が10%である。

◇ふるさと応援寄附金事業

【42億4万9千円】

ふるさと応援寄附金に係る経費です。

【審査の内容】

問 寄附金上昇の要因は何か。

答 返礼品を充実させた。400品目であったものを、新規商品や個数のバリエーションを増やすことで550品目にした。また、リピーターを増やすために、事業者が同梱チラシを作成したり、DMも活用した。他にも、ポータルサイトが10社であったものが12社になったり、様々なキャンペーンを行った。

これらが主な要因である。

◇飼肥城由緒施設管理費

【994万9千6百円】

飼肥城由緒施設等の管理運営に係る経費です。

◇公園管理費

【551万4千8百円】

公園を常に良好な状態に保ち、市民に快適な空間と休息の場を提供すると共に、公園施設の維持補修を行い、公園利用者の利便性の向上を図るための経費です。

【審査の内容】

問 ロボット芝刈機の維持費について問う。

答 刃の取替は必要になる。その他、月に10000円程度の電気代は発生する。

問 ロボット芝刈機は公園の管理者に貸与しているのか。

答 貸与ではなく、市の備品として設置している。



ロボット芝刈機

市政を 問う! 一般質問

令和7年第2回定例会における「市政に対する一般質問」は、3月10日、11日、12日の3日間行われ、12人が個人質問に立ち、多岐の内容にわたり市の方針をたしました。

以下、登壇順に質問と答弁の要旨を掲載しています。

※質問や答弁について、要旨だけではなく詳細をお知りになりたい方は、日南市議会事務局にて「日南市議会会議録」を閲覧することができます。

また、日南市議会会議録は「日南市議会ホームページ」でも閲覧することができます。

詳しくは、日南市議会事務局（電話：0987-31-1142）までお尋ねください。

〈登壇者と質問項目〉

1. 中尾 貞美 議員 [小村寿太郎侯生誕170周年事業について、観光の推進について、地震津波等対策について、日南市重点戦略プラン2025について、道路、河川、下水道事業等の整備について]
2. 富士 洋一 議員 [災害備蓄について、下水道管について、公共交通機関について、買い物難民の支援について、空調設備について]
3. 影山 逸郎 議員 [水質の安全性について、油津港について、災害対策について]
4. 平 剛典 議員 [環境について、危機管理について、祝い事について、商工について]
5. 黒部 俊泰 議員 [防災・減災について、介護人材の確保について、子育て支援について、共助の柱について、地域活性化について]
6. 前田 幸雄 議員 [市長の政治姿勢について、国道220号沿線地域の交通対策について、市の組織体制について、市職員等の心身の健康について、補助犬について]
7. 坂元 啓一 議員 [J R 日南線問題について、行政経営プラン2025について、法人市民税納税義務者の状況について、大地震や津波対策について、小中学校に関する諸問題について、黒潮環境センターの受入日時について、南郷町地域振興センターの移転後について]
8. 柿原 聡子 議員 [市長の政治姿勢について、令和6年度の各種事業について、北郷温泉と関連事項について、改修工事等について、油津港の岸壁延伸について]
9. 井福 秀子 議員 [市長の政治姿勢について、南郷大島魅力創生プロジェクト事業について、カーブミラー設置について、風田浜のサーフィンスポットの環境整備について、上城霊園について、猪崎鼻の管理について、道の駅なんごうについて]
10. 鈴村かずえ 議員 [市長の政治姿勢について、健康福祉について、密漁対策について]
11. 川口 和也 議員 [3歳未満保育料無償化について、ジェンダーギャップ解消とワークイノベーション推進の取組について、賃金上昇について、職員の研修について、備蓄米放出について、高齢者世帯について、避難所運営の自治体指針改定について、森林管理制度について、南郷大島魅力創生プロジェクト事業について]
12. 北山みゆき 議員 [誰もがまちづくりに関わり活躍できるまちづくりについて、持続可能な大島について、安心をみんなでつくっていけるまちづくりについて、未来を創る教育について]

小村寿太郎侯生誕一七〇周年 事業について



自民党
令和の会
中尾 貞美

小村寿太郎侯生誕一七〇周年事業について

問 具体的にどのような事業を展開するのか。

答 周年を契機に、意義深い取組となるよう検討していきたい。

観光の推進について

問 舩田城入り口案内看板の設置は、いつ頃になるのか。

答 道路管理者の日南土木事務所に確認したところ、令和7年度中の設置に向けて、予算要求している。

問 旧飯田医院の外壁外観の修復計画はないか。

答 現在、耐震改修工事に向けて調査検討中。結果を受けて、耐震工事に向けて調整する予定。

問 道の駅なんごう周辺整備について、ジャカランダ植栽地を市が買い上げることはできないか。

答 老木化への対応を優先したい。

地震津波等対策について

問 以前議会で、サイレン吹鳴について、地震津波対策を聞いたが、どのように修正したのか。

答 防災行政無線管理委託業者と協議し、システムを変更した。



小村寿太郎侯誕生之地の案内板

問 吉野方畦之丸地区への防災スピーカーの設置はできないか。

答 防災ラジオや防災メール、LINE等の活用により、情報を入力していただきたい。

道路、河川、下水道事業等の整備について

問 畦ノ丸橋下流の護岸損傷箇所の早期復旧はできないか。

答 今後の河川改修事業により護岸改修整備を行う予定である。

問 内の迫川の河川改修はできないか。

答 新たな整備について研究していきたい。

災害用備蓄と買い物難民の 支援について



自民党
令和の会
富士 洋一

災害用備蓄率について

問 備蓄率の現在の状況を問う。

答 水・食料・毛布・簡易トイレなどの11品目は、目標数を確保している。また、国の交付金を活用して、トイレカーを2台導入する。

簡易ベッド・テントについて

問 簡易ベッド・テントは今後増やしていく計画があるのか問う。

答 一個のサイズが大きく、備蓄倉庫の確保にも課題があり、現在のところ増やす考えはない。

下水道管の破損等について

問 下水道管等の検査・点検状況について問う。

答 腐食する恐れの大きい下水道管は、5年に1回マンホール内部及び蓋の点検、マンホール内部から見える下水道管の点検を行う。

公共交通機関について

問 公共交通機関の運転士不足について問う。

答 個人に対する「運転士確保奨励金」と、交通事業に対して「資格取得支援補助金」の二つの制度を創設し、対策を行っている。

問 デマンド型乗合タクシーの今後

の取組について問う。

答 運転士確保に関する支援を実施し、タクシー事業者との協議等を重ねて、拡大について検討する。

中山間地域移動スーパリーについて

問 導入支援事業について、どのような周知を行ったか問う。

答 ホームページと併せて、広報誌での周知も図っていく。

問 今後の導入支援について問う。

答 市内で営業するスーパリーにも、市から事業の案内を行う。近隣に店舗のない地区で運行していただけるスーパリーや事業者に対して、支援を行っていきたいと考えている。



公共下水道のマンホール

水質の安全性と油津港の 企業誘致の強み



自民党
令和の会
影山 逸郎

水質の安全性について

問 有機フッ素化合物(PFAS)は、環境中での残留性や健康影響が懸念され、全国でも暫定目標値超えの報告があり、県内においても新田原基地や西都市の河川で基準値を超えた数値が検出されている。本市の水源でも基準値以内であるが、検出が確認されている。水源の安全性を維持するための取組や情報の公開について伺う。

答 水源の安全性を維持するための取組として、水道施設において、これまで通り、定期的な水質検査を実施して状況の把握に努める。有機フッ素化合物(PFAS)に含まれるPFOA・PFOSについては、令和7年度も水質検査をする計画としている。また情報の公開については、検査結果一覧表を公表している。

油津港の企業誘致の強みについて

問 新工業団地への企業誘致において、物流の強みとなる油津港を前面に打ち出した誘致策は、考えられないか伺う。

答 新工業団地は、東九州自動車道

の日南東郷インターチェンジの近くに位置し、油津港とも容易にアクセス可能で、本市における総合交通網の強みを発揮できる候補地として選定を行った。企業誘致についても油津港までのアクセスが容易なことや、優遇措置などをアピールしてきた。油津港の活用は、課題となるドライバー問題や、貨物輸送を環境負荷の小さいモーダルシフトへの進展が、ゼロカーボン宣言する本市にとって、重要であることから、今後も総合交通の強みを前面に出して、企業誘致に取り組んでいく。

水道の水は大丈夫？

水道事業者(自治体の水道局)等が
水道水中の目標値※を超えないよう
取り組みを進めています



※ 1リットルあたり 50ナガム
毎日2リットル、一生飲み続けても
健康への悪影響が生じないと考え
られるレベル

水質の安全性 環境省のHPより

未来のために 計画的な事業投資を



自民党
令和の会
平 剛典

再造林について

問 伐採から再造林へと計画的に進んでいるのかは市民には見えない部分もあり、不安の声を聞くことがある。伐採後、再造林も順調なのか問う。

答 森林経営計画の未設定の森林では、植林が進まない状況もあるが、森林経営計画を定めている森林においては、伐採から植林までが計画され、適切に実施されている。

問 県は再造林率90%を目指す「グリーン成長プロジェクト事業」を立ち上げられているが、日南市では現在の再造林率は何%かを問う。

答 直近では72%である。県・市・関係事業者で連携し、森林経営計画の未設定の森林所有者に対して、再造林の啓発等に取り組む。

成人式について

問 令和3年の成人式の開催が叶わなかったことについて、数年経った今でも、熱い想いで開催を望む市民の声を聞くが、若い方達の想いを叶えることはできないか問う。

答 当時、新型コロナウイルス感染拡大により、式典を執り行うこと

油津商店街の道路活用について

ができず、新成人者向け動画の制作・配信や、記念品の贈呈により祝福を行った。式典開催の再検討は考えていない。

問 商店街内を活用し、事前登録を前提に、いつでも出店できるシステムの構築はできないか問う。

答 道路占用許可は、日南市が許可権限者となり、露天等の出店は、1日もしくは、1か月単位での申請が可能である。道路使用許可は、日南警察署が許可権限者となっているので、公益性の観点から個別具体的に判断される。



成人式の様子

安全・安心なまちづくり



公明党
日南市議団
黒部 俊泰

防災・減災について

問 埼玉県八潮市で県道陥没事故が発生し、社会に大きな不安が広がっている。下水道管の一般的な耐用年数は50年となっているが、耐用年数を超えた距離等を問う。

答 本市の下水道事業は、油津地区の雨水対策をスタートに、昭和33年から着手している。耐用年数を超えた下水道管は約12キロある。

問 園田の下水道ポンプ場正面の市道が深さ約1メートル陥没し、そのすぐ横の場所でも同様に陥没した。現場周辺には側溝がなく、雨水は市道の小さな穴から下水道管に合流し、汚水と一緒に下水道ポンプ場を通り、終末処理場まで流れる。記録的豪雨が増加した近年は、下水道ポンプ場にも下水道管にも負担が増していると思う。どのような対策を打つのか。

答 下水道管には何も問題はないとの見解に至っているが、今後、抜本的には、両側にみぞ形の側溝を整備すべきと思う。油津地区でも要望箇所が多いので、優先順位を図りながら検討していきたい。

道の駅きたごうについて

問 重点戦略プランに基づく、5年後を見据えた活性化策を問う。

答 新鮮な農林水産物や特産品などを販売している物販施設、インクルーシブ遊具を備えた公園等がある。周辺には桜や温泉などの観光資源を有しているため、関係機関と連携した祭りの開催やスタンプラリーの実施などに取り組んでいる。これまでの取組をさらに充実させ、既存の情報発信アプリを活用した、市内3つの道の駅と温泉の魅力発信や地域特産物のPRで、市全体の活性化に取り組む。



道の駅きたごうのインクルーシブ遊具

できないではなく できる方向性を



公明党
日南市議団
前田 幸雄

市長の政治姿勢について

問 1期4年間の実績について、特に力を入れ、高橋カラーが出せた事業は、何かを問う。

答 前半は入札制度の見直し、令和5年度からは人口減少対策及び地域経済の活性化を進めた。学校給食費の全額公費負担、また、新工業団地の整備などに取り組んだ。

問 今後の取組について問う。

答 人口減少対策と地域経済の活性化はさらに進めていく。また防災、福祉、医療、地域交通対策などさらに強化していく。

国道220号沿線地域の交通対策について

問 沿線住民の自然災害による国道の交通止めに対する対策を問う。

答 1月20日、関係機関17人で鶴戸地区の小吹毛井林道を起点とし、東郷地区の風田第1林道及び神田林道を終点とした、2つのルートの現地調査を行った。

市の組織体制について

問 課長兼務の部長を廃止する考えはないかを問う。

答 廃止する考えはない。

市職員の心身の健康について

問 本年3月1日現在の病気休暇中の職員数を問う。

答 30日を超える精神及び行動の障害が5人、その他の疾患が3人となっている。

補助犬について

問 どのような犬種か問う。

答 目や耳、手足に障がいのある方をサポートする盲導犬、介助犬、聴導犬である。

問 小中学校での補助犬学習はできないか問う。

答 体験学習の場を働きかけ、拡大と充実を図っていきたい。



代替林道の2つのルートの調査風景

バタフライエフェクトが 聴こえてくる!?

JR日南線問題について

問 1月4日のJR九州の古宮社長の発言をどう受け取ったか。

答 古宮社長の発言は「必要であれば日常利用で使ってほしい」「どういう交通体系が、地域にとってふさわしいのか考えて頂きたい」であつたと認識している。JR九州が

日南線の「油津・志布志」間について、「将来の地域公共交通のあり方について議論したい」という意向をお持ちであるとは承知しているが、その議論に当たっては、私たち地元の意向を十分に尊重して頂きたいと思っている。

問 JR指宿枕崎線の在り方検討会議について、協議と検討会議の違いは。

答 「協議」は特定の課題等について合意や決定を目指して話し合うことであることに対し、「検討会議」は特定のテーマや議題について検討や分析を行う会議を行うことと認識している。なお、指宿枕崎線の在り方検討会議では、「鉄道が沿線にもたらす経済的価値の調査」や、「利活用のアイデアを基



無会派
坂元 啓一

にした実証事業」の実施など、鉄道を活かした地域づくりを検討されている。

行政経営プラン2025について

問 ふるさと納税の数値目標が毎年増えている根拠は。

答 6年度の寄附金額が、設定した目標額を大きく上回ることが見込まれたため、11年度の寄附金額を百億円とする新たな数値目標を設定した。この目標を達成するため、新商品の開発や事業者の開拓、販売促進の強化をはじめ、更なるシティプロモーションによる魅力の発信などを進める予定である。



JR日南線のアニメコラボ列車

素晴らしい資源を活かし 日南市の強みへ

加工場の設置について

問 年始の賀詞交歓会で加工場の構想に積極的な姿勢が見られた。具体的な構想があるのか問う。

答 第一次産業の強みが発揮できる食品加工について、積極的な誘致を図っていきたい。

インバウンド推進事業について

問 今回の鵜戸神宮で行われたインバウンド推進事業は素晴らしい演出にも関わらず、参加者が少なく残念だった。これで終わることなく改善し、続けてほしいと思うが、今後の取組方法について問う。

答 本事業の実績を基に、十分な分析を行い、商品開発を視野に入れた、効果的なセールスやPR方法に努めていきたい。

北郷温泉と関連事項について

問 サンチェリーきたごうの2階部分は、現在封鎖され使えなくなっている。「休憩場所がほしい」との市民の声もあるが、今後の利活用について問う。

答 指定管理者制度への移行を視野に入れながら、効果的な活用方法を研究していく。



無会派
柿原 聡子

問 北郷温泉ミニバレー大会と温泉施設との相乗効果を図るため、何か取組をしているのか問う。

答 団体主体で取り組まれているので、その活動を尊重し、協力できる範囲で支援していきたい。

多目的体育館裏倉庫隣接のトイレ改修について

問 多目的トイレの流れが悪いが、未だ改修されていない理由を問う。

答 6年度は、男女のトイレを和式から洋式へ改修することを目的としていた。多目的トイレは当初から洋式になっていたが、流れが悪いとのことでバルブ取替は行った。



インバウンド推進事業
～演目舞台セッティング中～

南郷大島魅力創生プロジェクトについて

南郷大島魅力創生プロジェクト事業について

問 大島の貴重な生物の保護対策について伺う。

答 実施主体事業者において自然公園法に基づき、適切な環境保護対策を講じて整備が行われると伺っている。

問 除草剤や農薬の使用により海水、海洋生成物に影響があると思うが、その対策について伺う。

答 現時点での農作物栽培計画等はないため、海水への影響は想定していないが、敷地内の除草剤等の使用についても自然環境に配慮するよう実施主体と協議していく。

カーブミラー設置について

問 カーブミラー設置の要望に対し、4年後くらいで18番目のことだが、設置を早くできないか。

答 カーブミラーは、交通安全施設整備事業で年に2〜4基設置している。現在市内にカーブミラー設置の必要な箇所が18箇所あるため、要望箇所は4年後の予定。

サーフィンスポット整備について

問 風田の浜には、県外から多くの



無会派
井福 秀子

サーファーが訪れているため、トイレやシャワー等の環境整備を行う考えはないか。

答 県の管理区域であるため、引き続き県に対し整備を要望していく。

猪崎鼻の管理について

問 猪崎鼻の管理はどこが管理し、維持管理を行っているのか。また、木製の展望台が古くて、危険なため、整備が必要ではないか。

答 市で管理をし、観光協会に草刈り等の環境整備を委託している。展望台については定期的に巡回し、軽微なものはその都度修繕し対応している。



猪崎鼻から見た大島

安心して暮らせる日南市へ

新工業団地について

問 市内企業が人材確保に苦慮する中で、新たな立地企業への人材流出に不安の声があるがどうか。

答 地域内での人材の奪い合いが起らないように努める。人材確保については、移住施策や、高速道路を利用した市外通勤者を確保する支援策を検討する。

問 工業団地を整備して企業が来れば、人口が増えると思っているように見えるが、整備背景や市長のビジョンはどのようなものか。

答 整備により新たな産業が生まれ、地域経済の活性化が図られ、地元企業が成長することで地域全体の経済効果が高められる。多くの雇用が生まれ、若者が定住し、人口減少の抑制に繋がると考える。

ヘルストロンについて

問 健康維持のために20年以上設置していた機器全ての撤去を決める前に、利用者の声は聞いたのか。

答 聞き取りなどはしていない。

問 利用の多かった箇所だけでも新たな機器の設置はできないか。

答 市民からそのような声はない。

密漁対策について

問 伊勢海老の密漁が続いているが、県全体の取り締まり強化や、啓発の連携について伺う。

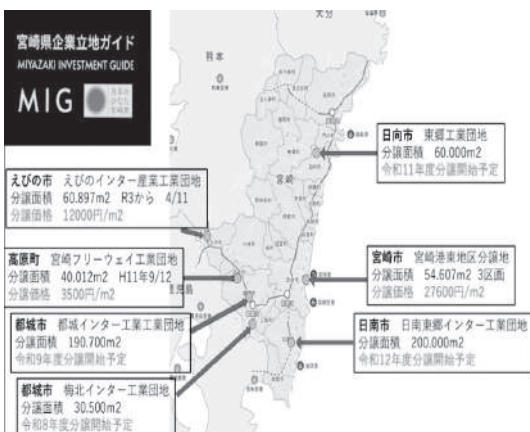
答 県南部地区密漁防止対策協議会において、啓発看板の設置や広報活動、年に2回の管内漁港を夜間巡回するなど行っている。

問 密漁者から買わないなどの買側の啓発や、モラル向上も必要と考えるがどうか。

答 違法に採捕されたことを知りながら取引を行った場合は罰則がある。罰則の周知を図り、密漁啓発に取り組んでいく。



自由民主党
日南市議員
鈴木 かずえ



県内の売り出し中・整備予定の工業団地

3歳未満児保育料無償化に 1億円が必要



立憲民主の会
川口 和也

3歳未満保育料無償化について

問 3歳未満の保育料は、保育所等を利用する最年長の子どもを第1子とカウントして、0歳から2歳までの第2子は半額、第3子以降は無償である。3歳未満の保育料の無償化に必要な財源額はいくらかを伺う。

答 無償化に必要な財源額は約1億円を見込んでいます。

賃金上昇について

問 23年の全国平均賃上げは1万560円、24年が1万5281円である。宮崎県においては、23年が7679円、24年が9808円で、賃金上昇が高水準に推移している。この状況に対する市長の所感を伺う。

答 労働者の立場においては、大変喜ばしいことである。事業所の立場においては、賃上げの必要が生じており、雇用確保の観点からも苦慮されている。

指定管理料の算定について

問 指定管理期間は、3年から5年。急激な賃金上昇がある場合は、指定期間内に指定管理料の変更が必要と考えるがどうか。



大島とあけぼの3

要と考えるがどうか。

答 基本協定で指定管理者は、指定管理料の変更を申し出ることができ、市との間で変更金額等に協議を行う。現在、1社と協議を行い変更する予定である。

南郷大島魅力創生プロジェクトについて

問 建設中の汚濁水及び、完成後の雨水による環境保全への市の対応について伺う。

答 大島の自然環境が損なわれないよう、市も実施主体業者と協議をしていく。

市民に寄り添った まちづくりの推進を



立憲民主の会
北山 みゆき

まちづくりについて

問 巨額を投入する事業は、市民や議会が十分検討する期間や機会を設けることはできないか。

答 緊急性や機密性を要する難しいケースもあるが、市民の立場に立った丁寧な説明を心がけたい。

持続可能な大島について

問 南郷大島魅力創生プロジェクトについては、市民への説明会で要望や意見にどのように応えるのか。

答 国の交付金決定内示後に、説明会を開催する。市民からの期待や懸念等の意見を丁寧に受け止め、対応を検討するなど、今後の取組への参考とさせていただきます。

問 あけぼの3や島内の施設のバリアフリー化は図れないか。

答 バリアフリーにむけた環境整備には大規模な改修が必要である。多くの方に来訪いただける環境整備について、研究していきたい。

安心なまちづくりについて

問 自主避難等も踏まえた避難所運営マニュアルを作成できないか。

答 自主避難の場合の対応については、防災士等の協力を得て、地域

の方々と考えていきたい。

未来をつくる教育について

問 障がい者教育の推進はできないか。

答 福祉教育は、全学校での実施を目指し、多くの分野の福祉体験学習ができるよう働きかけていく。

問 文科省委託の「不登校要因調査研究結果」への所見を伺う。

答 教員、児童生徒、保護者の認識に差がみられる項目があることは、確認している。不登校の要因が一つに限定できない場合が多く、多様な観点で実態を把握し、一人一人に寄り添った対応をしていく。



大島への入り口となるあけぼの3乗り場

審議結果一覧

※令和7年第2回定例会の審議結果を掲載しております。

【令和6年度関係議案】

番 号	議 案 名	審 議 結 果	
		委員会	本会議
報 告 第 2 号	専決処分の報告について	—	終了
報 告 第 3 号	専決処分の報告について	—	終了
議 案 第 3 号	令和6年度日南市一般会計補正予算(第12号)	原案可決	原案可決
議 案 第 4 号	令和6年度日南市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決	原案可決
議 案 第 5 号	令和6年度日南市後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)	原案可決	原案可決
議 案 第 6 号	令和6年度日南市介護保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決	原案可決
議 案 第 7 号	令和6年度日南市病院事業会計補正予算(第4号)	原案可決	原案可決
議 案 第 8 号	令和6年度日南市簡易水道特別会計補正予算(第1号)	原案可決	原案可決
議 案 第 9 号	令和6年度日南市公共下水道事業会計補正予算(第6号)	原案可決	原案可決
議案第10号	令和6年度日南市特定環境保全公共下水道事業会計補正予算(第4号)	原案可決	原案可決
議案第11号	令和6年度日南市漁業集落排水事業会計補正予算(第2号)	原案可決	原案可決
議案第12号	令和6年度日南市公設合併処理浄化槽事業会計補正予算(第5号)	原案可決	原案可決
議案第13号	令和6年度日南市水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決	原案可決
議案第14号	日南市重点戦略プラン2025について	原案可決	原案可決
議案第15号	辺地に係る総合整備計画(酒谷7区辺地)の策定について	原案可決	原案可決
議案第16号	日南市職員の退職管理に関する条例	原案可決	原案可決
議案第17号	日南市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第18号	日南市重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第19号	日南市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第20号	日南市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第21号	日南市土地開発基金条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第22号	日南市山村定住住宅の設置、管理及び譲渡に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第23号	財産の減額譲渡について	原案可決	原案可決
諮 問 第 1 号	督促処分への審査請求に係る諮問について	棄却すべきと答申	棄却すべきと答申
議員提出議案第9号	日南市議会議員定数条例の一部を改正する条例	—	原案可決

【令和7年度関係議案】

番 号	議 案 名	審 議 結 果	
		委員会	本会議
議案第24号	令和7年度日南市一般会計予算	原案可決	原案可決
議案第25号	令和7年度日南市国民健康保険特別会計予算	原案可決	原案可決
議案第26号	令和7年度日南市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	原案可決
議案第27号	令和7年度日南市介護保険特別会計予算	原案可決	原案可決
議案第28号	令和7年度日南市病院事業会計予算	原案可決	原案可決
議案第29号	令和7年度日南市簡易水道特別会計予算	原案可決	原案可決
議案第30号	令和7年度日南市公共下水道事業会計予算	原案可決	原案可決
議案第31号	令和7年度日南市特定環境保全公共下水道事業会計予算	原案可決	原案可決
議案第32号	令和7年度日南市漁業集落排水事業会計予算	原案可決	原案可決

【令和7年度関係議案】

番 号	議 案 名	審 議 結 果	
		委 員 会	本 会 議
議案第33号	令和7年度日南市公設合併処理浄化槽事業会計予算	原案可決	原案可決
議案第34号	令和7年度日南市水道事業会計予算	原案可決	原案可決
議案第35号	日南市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第36号	日南市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第37号	日南市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第38号	日南市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第39号	日南市水道局企業職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第40号	日南市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第41号	日南市廃棄物の適正処理、減量化、資源化等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第42号	日南市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第43号	日南市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第44号	日南市学校給食共同調理場設置条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第45号	日南市立酒谷コミュニティセンター条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第46号	日南市公園条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第47号	日南市林間休養施設条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第48号	日南市観光施設条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第49号	日南市蜂之巣公園条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第50号	日南市監査委員の選任について	—	原案同意
請 願 第 1 号	吾田地区に図書館を設置してほしいに関する請願	継続審査	継続審査
議案第51号	令和5年公共災第159号伊比井富士線道路災害復旧工事の請負契約の一部変更について	原案可決	原案可決
議案第52号	南郷町地域振興センター建設事業建築主体工事の請負契約の締結について	原案可決	原案可決
議員提出議案第10号	日南市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例	—	原案可決

採決結果一覧

賛否の分かれた議案等における、議員ごとの賛否結果は以下のとおりです。
なお、表中の記号は次のとおりです。(○=賛成 ×=反対 退=退席 議=議長)

議案番号	議案名	審査結果	北山みゆき	影山逸郎	平剛典	鈴木かずえ	柿原聡子	富士洋一	小玉弘明	北川浩一郎	谷口慎二	黒部俊泰	山田一也	川口和幸	前田雄紀	濱中武一	坂元啓博	安竹貞美	中尾秀子	井福子	採決結果
議案第3号	令和6年度日南市一般会計補正予算(第12号)	原案可決	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	×	原案可決
議案第24号	令和7年度日南市一般会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○	原案可決

注) 議長は採決には加わりません。

議会はインターネットでもご視聴いただけます！

本会議のようすは、生中継しています。また、過去の映像はインターネットで録画配信しています。下記のURL、QRコード、日南市議会ホームページからアクセスしてください。 <https://www.nichinan-city.stream.jfit.co.jp/>



議会日誌

(2月から4月:抜粋)

【2月】

- 13日 議会運営委員会、全員協議会
- 20日 本会議(第2回定例会開会)、全員協議会、予算審査特別委員会全体会議、委員会審査(現年度分)、市への提言書提出
- 25日 予算審査特別委員会全体会議、本会議(現年度議案採決)、日南市重点戦略プラン審査特別委員会
- 27日 本会議(日南市重点戦略プラン採決、新年度提案)、全員協議会、会派代表者会議、各常任委員会、広報広聴委員会
- 28日 本会議(質疑)予算審査特別委員会全体会議

【3月】

- 10日 本会議(一般質問)、議会運営委員会
- 11日 本会議(一般質問)、議会改革推進特別委員会、総合交通・産業活性化対策特別委員会
- 12日 本会議(一般質問)
- 13日 委員会審査
- 14日 委員会審査
- 18日 議会改革推進特別委員会
- 19日 広報広聴委員会
- 21日 予算審査特別委員会全体会議、全員協議会、本会議(採決・閉会)、全員協議会

【4月】

- 3日 広報広聴委員会

トピックス

市民の声を反映させるための提言書について

日南市議会は、各常任委員会で「人口減少対策」や「誰もが暮らしやすい日南市」、「高速道路を活かした産業振興、産業と観光の振興」などを重点テーマとして、関係自治体の視察や市民団体との意見交換を通じて見識を深め、市民の意見を反映する施策の検討を行いました。さらに、議会報告会を開催し、市政に対する市民の声を伺いながら、政策に活かすための提言書を作成し、2月20日に市長へ手渡しました。今後は、この提言に対する取組状況や進捗等を1年ごとに市より報告を受け、その内容を議会全体で十分に確認しながら、関連議案等の審議を進めていきます。



行政視察 日南市来訪

2月4日 埼玉県三郷市議会

6日 長崎県長崎市議会

令和7年6月定例会 開催予定

- 6月24日(火) 本会議(開会)
- 6月25日(水) 本会議(質疑)
- 7月3日(木)・4日(金)・7日(月) 本会議(一般質問)
- 7月8日(火)~10日(木) 委員会審査
- 7月11日(金) 本会議(閉会)

本会議の傍聴をご希望の方は、議会開催日に、庁舎本館3階の傍聴者受付までお越しください。

編集後記

令和7年度に入り広報広聴委員会もメンバーが変わりましたが、引き続き委員長をさせていただくことになりました。市民の皆様には議会情報を分かりやすく伝えたい！皆様の声を市政に反映させたい！議員全員のそのような思いを実行していくのが本委員会の役割です。

年に4回発行する議会だよりも、今回65号目になります。より見やすく、伝わりやすいのはもちろんですが、市民の皆様にしんでもらえるような誌面を目指して取り組んでまいります。

前号の議会だよりの表紙は、日南市内の獅子舞の写真を議員が撮影したもので、市民の方から提供いただいたもので構成しました。関係者の方から喜びの声をいただき、このような小さな一歩を積み重ねていきたいと思っています。

3月議会では議員定数を2人削減する条例改正が可決されました。次の選挙から議員定数が17人になります。市民の皆様には選ばれた議員の仕事ぶりをしっかりと見ていただき、これからの日南市のために選挙で選んでいただけたらと思います。

残された任期は2年を切りましたが、どうぞ議会だよりをよろしく願います。

【広報広聴委員会】

(記) 鈴村 かずえ
委員長 鈴村 かずえ
副委員長 北山 みゆき
委員 影山 逸郎
柿原 聡子
小玉 弘明
前田 幸雄

